

No.24-12

2024年2月21日  
エーザイ株式会社**2050年ネットゼロ達成に向けた温室効果ガス削減への取り組みの強化**  
**—JCI Race to Zero Circle への参加ならびに SBT1.5°C目標の承認を取得—**

エーザイ株式会社（本社：東京都、代表執行役 CEO：内藤晴夫）は、このたび、中長期的な温室効果ガス（GHG）の削減に向けた取り組みについて、「気候変動イニシアティブ（JCI）」より2050年までのネットゼロ\*達成にコミットする JCI Race to Zero Circle への参加承認を取得しました。また、「Science Based Targets（SBT）イニシアティブ」より、当社の新たな GHG 削減目標について SBT1.5°C目標として以下の概要で承認を取得しました。

- ・ GHG の排出量（スコープ 1+2）を 2030 年度までに 2019 年度から 55%削減する。
- ・ GHG の排出量（スコープ 3 のうち購入した製品・サービスに基づく排出量）を 2030 年度までに 2019 年度から 27.5%削減する。

スコープ 1：化石燃料使用により、大気中へ放出された GHG 直接排出量

スコープ 2：他者から供給を受けた電気、蒸気の利用に伴う GHG 間接排出量

スコープ 3：サプライチェーンにおける自社を除く間接的な GHG 排出量

2015年12月の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で成立したパリ協定以降、世界共通の目標として、世界の気温上昇を産業革命前と比べて1.5°C以内に抑える削減目標（1.5°C目標）と、その延長にある2050年ネットゼロ達成に向けた取り組みが加速しています。2023年12月に開催された同第28回締約国会議（COP28）では、1.5°C目標達成のための緊急的な行動の必要性が再確認されました。当社は、2019年度以降、SBT2°C目標（2016年度比で2030年度までにGHGを30%削減）を掲げ、2022年度まで3年連続で目標を達成し、GHG排出量削減は2016年度比で60%を超える水準まで到達しました。今後は、2050年までにネットゼロを達成するため、既に加盟する国際イニシアティブ RE100 の取り組みに加え、今回参加した JCI Race to Zero Circle および新たに承認された SBT1.5°C目標への取り組みを通じて GHG 削減を強化していきます。

当社は患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献することを企業理念と定めています。このヒューマン・ヘルスケア（hhc）理念を実現するためには、事業活動の基盤である地球環境の保全が必要不可欠です。当社は、設定した目標に沿って気候変動緩和への取り組みを着実に推進し、社会の持続性確保によって人々の「生ききるを支える」ことに貢献してまいります。

\*ネットゼロ（SBT イニシアティブネットゼロ基準による定義）

- ・ スコープ 1、2、3 の排出量をゼロにするか、もしくは適格な 1.5°C目標に沿ってグローバルまたはセクターレベルでのネットゼロ排出達成と整合性がある残余排出量水準まで削減
- ・ ネットゼロ目標の時点における残余排出量およびそれ以降に大気中に放出されるすべての GHG 排出量を中和すること

以上

## 参考資料

### 1. 気候変動イニシアティブ (JCI) について

JCI は、気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、団体、NGO など、国家政府以外の多様な主体のゆるやかなネットワークであり、当社も参加しています。JCI Race to Zero Circle は、国連が支援する気候変動対策キャンペーン Race To Zero の公式パートナーです。

詳細は、[JCI のホームページ](#)をご覧ください。

### 2. Race To Zero について

Race To Zero (ゼロへのレース) は、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局が開始した国際キャンペーンであり、企業、自治体、投資家、大学などの非政府アクターに、2050 年までの GHG ネット排出量ゼロ達成に向けた行動を迅速に起こすことを呼びかけています。Race To Zero への参加には、5 つの要件 (誓約・計画・実行・公開・説得) に適合することが必要です。

### 3. Science Based Target (SBT)イニシアティブについて

SBT イニシアティブは、環境分野に関わる情報開示プログラムを運営する国際 NGO である CDP、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、世界自然保護基金 (WWF)、および世界資源研究所 (WRI) による国際的な共同イニシアティブです。SBT は、科学的根拠に基づいて設定する GHG 削減目標のことで、SBT イニシアティブにより審査・認定されており、現在では国際的なデファクトスタンダード (事実上の標準) となっています。

詳細は、[SBT イニシアティブのホームページ \(英語\)](#) をご覧ください。

### 4. エーザイの環境への取り組みについて

事業活動の基盤である地球環境の保全は、患者様や生活者の皆様の日々の暮らしに大きくかかわる重要な経営課題です。定款に定めた長期的視野に基づく社会の持続性への貢献にも密接に関係するテーマであり、当社では「ENW 環境方針」、「環境経営ビジョン」の下、社会的課題の解決につながる環境活動を強化しています。

当社の環境への取り組みについては、[こちら](#)をご覧ください。